



命を支える新たな 「環境・エネルギー」の可能性

オンライン
開催

2021.12.8 Wed. 17:00-19:30

- 参加費：無料
- 定員：先着20名

これまでの日本における地球温暖化対策は、政府が目標値を設定し、産業界が技術開発によりそれを具現化するというモデルにより推進されてきた。しかし、2020年に政府が宣言した「2050年カーボンニュートラル」を旧来のモデルにより達成することは困難であり、市民一人ひとりの生き方や生態系への接し方が重要になってくる。また、産業界においても市民との共創による「都市・地域のシステムのデザイン」に真の科学技術イノベーションが期待される。このような視点に立って、今回のサロンでは、様々な立場から「環境・エネルギー」の課題に取り組みされている方々をお招きし、地球温暖化対策とその先にある社会と生態系の未来像について議論する。

■ プログラム

- 17:00 開会挨拶 堂目卓生 SSI長/経済学研究科教授
- 17:10 話題提供
 - 下田吉之 工学研究科教授 「カーボンニュートラルにおける都市の役割」
 - 小河義美 株式会社ダイセル 代表取締役社長 「一次産業と二次産業の協創循環を通じた産業生態系の実現 ～バイオマスバリューチェーンの提唱～」
 - 森田敦郎 人間科学研究科教授、松山幸子 一般社団法人パースペクティブ共同代表 「森とモノづくりを草の根でつなげる：循環経済のプロトタイプとインフラストラクチャーの探究」
 - 堅達京子 NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー 「脱炭素革命への挑戦 2030 未来への分岐点」
- 18:10 ディスカッション (モデレーター：木多道宏 SSI副長/工学研究科教授)
- 19:30 終了